

「安全・安心」を実感できるまちづくりには情報技術の活用が大切です

最近では、防災・減災の話題が世間を賑わし、それに伴い「安全・安心なまちづくり」に対する市民意識が高まっています。当フェアは、「北見市G空間情報とICTの連携活用事業」(総務省平成24年度補正予算 ICT 街づくり推進事業)の一環として、大学や行政、民間企業の協力の下、各分野における情報技術の交流により、「安全・安心」を実感できるまちづくりに貢献することを目的としています。

情報技術まちづくりフェア2013

—安全・安心に活かす情報技術—

講演会



「地理空間情報とGISを用いた積雪寒冷地の災害対策」

北海道大学大学院文学研究科 地域システム科学講座教授 **橋本 雄一氏**

建設コンサルタツ協会
CPDプログラム

「総務省における地域情報化支援について」

総務省北海道総合通信局情報通信部 情報通信振興課長 **戸田 豊隆氏**

「スマートライフの実現に向けて」

NTTドコモ コンテンツビジネス推進部 ポータルサービス担当部長 **秋元 秀幸氏**

同時開催

21企業団体による展示・実演コーナー

日時 2013年10月18日(金) 10:00~17:00

場所 北見工業大学総合研究棟

北海道北見市公園町165番地

※駐車場は北見工業大学前に臨時駐車場を用意いたしております。大学敷地内の駐車はご遠慮ください。
※会場案内図は裏面をご覧ください。

【主催】 情報まちづくりフェア2013実行委員会

【共催】 北見市、北見工業大学社会連携推進センター、北見地域GIS・GPS研究会

【後援】 総務省北海道総合通信局、北海道、国土交通省北海道開発局網走開発建設部、北見市産学官連携推進協議会、北見工業技術センター運営協会、日本技術士会北海道本部オホーツク技術士委員会、網走測量設計協会、北見測量設計協会

情報技術まちづくりフェア2013プログラム

会場▶ 総合研究棟 1階ホール

10:00~17:00 **展示・実演コーナー**
21企業団体が展示や実演を行っております。詳しくは、パンフレット中面を参照してください。

会場▶ 総合研究棟 2階多目的講義室

開会式

13:00~13:05 ● 情報技術まちづくりフェア2013実行委員長
北見工業大学社会連携推進センター長 **川村 彰**

来賓のご挨拶

13:05~13:10 ● 北海道総合政策部科学IT振興局情報政策課 課長 **加藤 建一**

報告

13:10~13:30 ● 行政におけるIT-BCPの取り組み
北海道総合政策部科学IT振興局情報政策課 主幹 **曾根 宏之**

講演 1

13:30~15:00 ● 「地理空間情報とGISを用いた積雪寒冷地の災害対策」
北海道大学大学院文学研究科地域システム科学講座教授 **橋本 雄一**

講演 2

15:15~16:00 ● 「総務省における地域情報化施策について」
総務省北海道総合通信局情報通信部 情報通信振興課長 **戸田 豊隆**

講演 3

16:00~16:45 ● 「スマートライフの実現に向けて」
NTTドコモ コンテンツビジネス推進部 ポータルサービス担当部長 **秋元 秀幸**

閉会式

16:45~17:00 ● 情報技術まちづくりフェア副実行委員長
北見市企画財政部部長 **小原 光一**

【お問い合わせ・参加申込み】

情報技術まちづくりフェア2013実行委員会
北見工業大学社会連携推進センター
TEL: 0157-26-4163 FAX: 0157-26-4171
e-mail: arita@mail.kitami-it.ac.jp

【運営協力】

(株)五十嵐建設、(株)岩崎、(株)オーピス、(株)北見コンピューター・ビジネス、(株)小柳中央堂、(株)システムサプライ、大起コンサルタント(株)、(株)ドボク管理、(株)パル設計事務所、北海舗道(株)、北辰土建(株)、(株)ローヤル企画



※大学敷地内の駐車はご遠慮ください

報告 北見工業大学総合研究棟2階多目的講義室

北海道総合政策部科学 I T 振興局情報政策課 主幹

曾根 宏之氏 行政における I T - B C P の取り組み

【概要】

道庁における I T - B C P の取組と今年の5月に総務省から公表されました I T - B C P 初動版の概要について

講演会 北見工業大学総合研究棟2階多目的講義室

講演 1

北海道大学大学院文学研究科
地域システム科学講座教授



橋本 雄一氏 「地理空間情報と GIS を用いた積雪寒冷地の災害対策」

【講演概要】

1990年代半ばから日本における大都市では都心部で人口が増加し、周辺部で減少する「人口の都心回帰」現象が見られるようになった。この都市構造の変容は、都心部における避難場所不足、周辺部における組織的避難の困難などといった防災上の問題をもたらし、特に積雪寒冷地の冬季環境は、これら問題が深刻化している。本講演では、この実態を地理空間情報、GIS、GPS などを用いて明らかにし、その結果をふまえて、「都市の構造変容」と「災害に対する社会的脆弱性 (vulnerability)」との関係について論じる。



【著書紹介】

増補版 GIS と地理空間情報
-ArcGIS10とダウンロードデータの活用-
出版社：古今書院 (2012/07)

講演 2

総務省北海道総合通信局情報通信部 情報通信振興課長

戸田 豊隆氏 「総務省における地域情報化支援について」

講演 3

NTT ドコモ コンテンツビジネス推進部 ポータルサービス担当部長

秋元 秀幸氏 「スマートライフの実現に向けて」

北見地域 GIS・GPS 研究会設立10周年記念

抽選会開催!!

Google

参加された先着
300名様の中から抽選で、
新型 Nexus 7
ほか豪華景品が
当たる!!



nexus7

出展企業団体一覧

- ① **株式会社ネクス光洋**
自立制御 UAV により航空写真が手軽に撮影できる Aeryon Scout micro-UAV の紹介。
- ② **株式会社ヒューネス / 株式会社小柳中央堂**
携帯する TapGIS の紹介 / 自治体向けメール配信システムの紹介。
- ③ **シャープビジネスソリューション株式会社**
タッチディスプレイ BIGPAD 32型 IGZO 技術搭載4K2K の紹介。
- ④ **富士ゼロックス株式会社**
DocuWorks8 「電子の紙」を実現するソフトウェア・図面管理ソフトの紹介。
- ⑤ **株式会社富士通パーソナル**
多彩な原稿をそのまま置いて、高速読み取りが可能な ScanSnap SV600 の紹介。
- ⑥ **株式会社 NTT ドコモ**
防災テレメータおよびビジネストランシーバーの展示。
- ⑦ **株式会社システムサプライ**
GPS と生育センサーを利用した可変施肥システムを中心に精密農業 FM システムの紹介。
- ⑧ **川田テクノシステム株式会社**
GPS を利用した資材・機材管理と災害時情報共有システムの紹介。
- ⑨ **株式会社北見コンピューター・ビジネス**
業務 A P 連携 Web システム infollow ~情報セキュリティ管理システム~ の紹介他。
- ⑩ **株式会社エイチ・シー・シー**
スマートデバイスを利用した音声ガイドの紹介。
- ⑪ **株式会社富士通マーケティング**
実践！ワークスタイル変革 スマートデバイス活用ソリューションの紹介。
- ⑫ **兼松エレクトロニクス株式会社**
DATA DOMAIN 重複排除ストレージ・システムの紹介他。
- ⑬ **株式会社ズコーシャ**
空撮用無人ヘリコプタを活用したリモートセンシングによる自動可変施肥システムの紹介。
- ⑭ **株式会社トップコンソキアポジションングジャパン**
GPS+GLONASS ハイブリット測位システム GNSS 受信機 Hiper-V の紹介他。
- ⑮ **株式会社ビーシステム**
ARUQ : GPS を使った概略測量、ナビゲーション、GIS データ収集の紹介他。
- ⑯ **ジオサーフ株式会社**
MobileMapper シリーズ : 高性能 GNSS 受信機によるマッピングソリューションのご紹介他。
- ⑰ **武藤工業株式会社**
パーソナル 3 D プリンタ CubeX Duo の紹介。
- ⑱ **株式会社岩崎**
GNSS 可変施肥システム「Cropspec」の紹介。
- ⑲ **国土交通省北海道開発局網走開発建設部**
北海道における災害状況、道路状況の情報入力方法、冬道運転のポイントについてパネルにて紹介。
- ⑳ **株式会社積水化学北海道**
防災貯留型仮設トイレシステム、地中熱交換システム、寒冷地技術製品、既設埋設管更正工法の紹介など。

展示会場図



情報技術まちづくりフェア 2013 参加申込書

「情報技術まちづくりフェア 2013」に参加を希望する方は、下記お申し込み書にご記入の上お申し込みください。
また、講演会と C P D 証明書につきましてはご希望の方に○印を記入してください。

お名前： _____ 会社名： _____

ご住所： _____

お電話： _____ e-mail： _____

講演会： 1. 参加する 2. 参加しない

C P D 証明： 1. 希望 (C P D 団体名： _____) 2. 不要

※建設コンサルタツ協会の C P D プログラムに承認されております。 C P D プログラム番号： 201309090006

お申し込みは 情報技術まちづくりフェア2013実行委員会
北見工業大学社会連携推進センター FAX：0157-26-4171 e-mail：arita@mail.kitami-it.ac.jp